



檜原学園  
Hinohara Gakuen

# 檜小だより

檜原学園檜原小学校



7月号

令和2年度

7月1日(水)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

## 色について考える・・・

校長 乙津 秀敏

臨時休業が明け一ヶ月が過ぎました。学校では先月号でお示した感染症対策を行いながら教育活動を進めています。児童と共に我々教職員も学校生活を送る上で今までとは違った行動、対応を求められることが多くなりましたが、学校全体として徐々にペースがつかめてきました。このような状況を踏まえて先月号でお示していた「学校の対応」の中の「学習方法の工夫」にありました音楽科の歌畧指導についても今後は換気や指導方法を工夫しながら徐々に実施して参ります。以前のように学校に歌声が響く日が待ち遠しいです。ご家庭におかれましても、毎日のマスクの準備や手洗いの励行等にご協力いただきありがとうございます。今後夏本番を迎えるにあたりこのマスクの着用に関しては、学校では熱中症予防の観点から体育の時間をはじめとして主に屋外で十分に距離をとって活動できる場面では外して取り組むよう指導していきます。ご理解の程よろしくお願いたします。今年度は先月お配りしました年間行事予定表のように、学校行事も大きく変更することとなりましたが、一人一人の状況に応じて適切に指導していくことに関しては変わらず行って参ります。児童の学習面、生活面等で何かお気づきの点がございましたら学校までご連絡ください。どうぞよろしくお願いたします。

さて、今月の話題は先日私が中学年の図工の授業を見たときの様子についてです。臨時休業中は実技教科の学習はなかったためか子供たちも殊の外楽しみながら取り組んでいました。この授業は絵の具で好きな色を作り、ただ単に筆で丸や四角等を描くというものでした。単純な活動ですが子供たちは思い思いの色で大小様々な形を描いて楽しんでいました。集中しながら黙々と描く子、友達の作品を見てその良さを発言する子、友達と意気投合して発想を膨らめながらどんどん描き進める子等、皆それぞれが独自の世界に浸っていました。

私は例年、4月から5月の時期に児童朝会で「緑のグラデーション」の話をする。これは簡潔にまとめると「学校の周りの山を子供たちと共に見ながら、同じ緑でも日を増す毎に徐々に変わるこの時期ならではの美しい新緑の風景を楽しもう！」という内容です。普段檜原村で生活していると当たり前のもので思い気にすることもないであろう風景に改めて注目し、自然の織りなす緑のグラデーションを目に留めてほしいからです。そして檜原の自然の素晴らしさを再確認してほしいからです。でも、今年度は臨時休業のためにそれができなかったことを残念に思っていました。そんな折にこの授業を見たためか、しばし「色」について考えを巡らしていました。

学生時代に理系の授業で「色は物として存在しない。人間が目を通して見ることによって生み出されるもの。」ということを知り、可視光線の波長の説明と共に聞きました。とても興味深く聞いたことを覚えています。このように物として存在しないと言われる「色」ですが、私たちは何か物を購入したり、作成したりするときに結構重要視するものです。私たちの生活に潤いを与えたり、勇気を与えたり、気分を落ち着かせたり・・・と、我々の生活と切り離すことができないものがこの「色」かと思います。たかが色、されど色。この何とも面白い「色」を素材にたっぷり2時間、友達や先生と様々なことを感じ合いながら過ごす図工の時間がとても有意義なものと再認識しました。先月号の終わりに私は「この未曾有の事態を経験して今まで普通にあった様々なものが実は普通ではなかったということに私自身気が付きました。」と書きました。上記のような図工の時間も今、改めてとても貴重な時間と再認識しています。学校でなければできないこと。友達や先生と一緒になければ深められないこと。これらを再確認しながら今後の教育活動を進めていきたいと考えています。

校長室の窓から外を眺めると、卒業生（現中学校2年生）が塗り直してくれた青い空と白い雲模様のシーソーが夏の日差しを受けて美しく見えます。そしてそのシーソーに一年生が乗って笑顔で楽しんでいます。この時期に合う色で元気を与えてくれるデザインです。卒業生ありがとう！大切に使おうね、子供たち！



## 7月の生活目標

学校が始まり1か月が経ちました。授業の中では、昨年までのノートを使い終わった子供たちが新しいノートをしっかり準備して授業に臨んでいる姿を見ました。

新型コロナウイルス感染症の影響で普段以上に物の貸し借り等についても気を付けなければいけない今、自分が使う道具の準備や管理が求められています。

7月の生活目標は「ものを大事にしよう。」です。ものを大事にすることには、自分のものを丁寧に扱う、しっかり管理するだけでなく、他人や公共のものも丁寧に扱ったり使った後は元の場所に戻したりすることも含まれると思います。

自分の物も他人の物も大事にするよう学校では声をかけていきます。

生活指導部 山田 剛史

## 保護者会のお知らせ

先日、お知らせにて配布したとおり、保護者会を開催いたします。ご多用のことと存じますが、下記日程で出席していただきますようご案内申し上げます。

1. 日時 7月 7日(火) 4・5・6年生  
7月 9日(木) 1・2・3年生  
15時15分～

7月9日(木) eライズ講習会 14:45～  
(1年生及び、ご希望の方)

2. 場所 各教室

3. 内容 (1) 1学期を振り返って  
(2) 学年の通知票(あゆみ)について  
(3) 夏休みの生活と学習  
(4) その他

※5・6年生につきましては、宿泊教室の見通しについてのお話もさせていただきます。

4. その他

- 駐車場は、村営グラウンド、村営駐車場をご利用ください。
- 来校証、うわばきをご持参ください。

## 特別支援教育とは

できないことはできなくていい。  
他の事で補うことで  
その先の力が身に付く。



臨時休業期間中に中・高学年はオンラインタイム等がありました。その中で、パソコンで文字を打つ場面やスタンプを使って気持ちを表現する場面がありました。

「書くのは苦手でもパソコンで文字を打ったり音声入力したりすれば表現の世界を広げていくことができる。」

「気持ちを言葉で伝えるのは苦手でも、スタンプのように他の方法で繋がりを広げていくことができる。」

そういった可能性を感じることができました。

苦手な事を克服するために苦しい思いを繰り返すよりも、別の方法を使うことでその子の可能性を広げてあげることができます。

便利な世の中、使えるものは何でも使って、子供たちの可能性を広げていければ良いと思いました。もちろん、苦手な事の克服方法を考えていくことについても小学校では進めていきます。

特別支援コーディネーター 小林 忍

## 一年生を迎える会



6月11日(木)、例年より2カ月遅れで、令和2年度の一年生を迎える会を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、例年、上級生が行っているゲームはできませんでしたが、それでも、入学した1年生が、最高学年の6年生と手をつなぎ(リングを使っての手つなぎ)、全校児童の拍手の中、本格的に檜原小学校の仲間入りをしました。

児童数54名の小さな檜原小学校は、皆が仲良しで兄弟姉妹のような学校です。集会活動を通して、子供たちの絆を強めてほしいと願っています。

特活部 河野 香織